

平成30年度 洛友会東京支部総会

平成30年6月24日(日)
於 学士会館

本総会は、「洛友会東京支部 支部会則」第8条および第9条に基づき開催するものです。

議事次第

- 開会の辞
- 支部長挨拶
- [第一号議案] 平成29年度行事・活動報告
- [第二号議案] 平成29年度決算報告および監査報告
- [第三号議案] 平成30年度の役員／評議員／幹事
- 支部長退任の挨拶
(役員交代)
- 新支部長挨拶
- [第四号議案] 平成30年度行事・活動計画
- [第五号議案] 平成30年度予算計画
- [第六号議案] 米寿・喜寿のお祝い
- 閉会の辞

付録1: 洛友会東京支部会則【平成28年6月26日改正】

支部総会終了後、引き続き、講演会、懇親会が行われます。

洛友会東京支部ホームページ <http://www.rakuyukai.org/tokyo>
洛友会東京支部メールアドレス webmaster@rakuyukai.org

(ご参考)

京都大学アラムナイホームページ <http://www.alumni.kyoto-u.ac.jp/>

1. 平成29年度行事・活動報告

1.1 支部総会、講演会、懇親会

平成29年6月25日(日)、学士会館にて、東京支部総会、本部総会、講演会及び懇親会を開催しました。本部より長尾会長、佐藤事務局長を初め多数の来賓をお招きし、68名の参加をいただき、例年にも増しての盛会となりました。

【支部総会】司会：福原総務幹事

[第一号議案]平成28年度行事・活動報告

・平成28年6月26日に、支部総会を開催し、長尾会長、荒木幹事長、佐藤事務局長をはじめ、多数の来賓をお招きし、約60名の参加をいただき、例年通りの盛会となったことの報告がありました。平成27年度の活動報告／会計報告に加え、おぼろ会の解散、拡大クラス会の名前変更等が報告され、拍手を持って承認されました。また、講演会では、「高齢化社会で健康に生きる」と題して、聖路加国際病院 福井次矢院長からご講演いただいたことの報告がありました。

・平成28年11月10日に、秋の講演会を開催し、52名の方にご参加いただき、JT代表取締役副社長新貝康司様から、「JTのM&A戦略～日本企業が世界企業に飛躍するために～」と題して、講演いただいたことの報告がありました。

・平成29年2月24日に若手交流会を開催し、京都大学東京オフィス会議室で、46名の方にご参加頂き、独立行政法人宇宙航空研究開発機構の前理事長 立川敬二様をお招きし、「NTTにおけるビジョン策定とJAXAにおける経営改革」と題して、ご講演いただいたことの報告がありました。

・平成29年4月7日に春の見学会を開催し、23名の方にご参加いただき、東京都立川市にある国立極地研究所を訪問したことの報告がありました。

・平成29年4月22日に第五回京都大学同窓会東京支部連絡会議および交流会が開催され、交流会では、大石久和 土木会東京支部長から、「日本人とインフラ」と題して、講演いただいたことの報告がありました。

[第二号議案]平成28年度決算報告および監査報告

・平成28年度の会計および監査報告が実施され、承認されました。

・会員数の減少に対する対策が議題となり、佐藤事務局長から、下記の状況と問題点の説明がありました。

－ 会報は4月のみ全会員に送付し、会費の督促を兼ねているが大学時代の実家の場所に送付しているケースでは実体を反映できていない点。

－ 学生会員制度により学生会員の納入率は高いが、大学院入学時の継続が課題である点。

[第三号議案]平成29年度の役員／評議員／幹事

・平成29年度の役員に、支部長 下村寛士(S51)、副支部長 得井慶昌(S52)、監事 伊東康之(S53)、総務幹事 山本輝哉(H10)、会計幹事 竹田真二(H11)、庶務幹事 工藤伊知郎(H10)、若手交流会幹事 福原忠行(H9)、黒田晋嗣(H11)の就任が承認されました。

・小森前支部長から、退任の挨拶がありました。1年間のご協力へのお礼と、反省点として、若手の活性化への取り組みが必要であることを述べられました。



小森支部長



下村新支部長

【第一号議案】

・下村新支部長から、就任の挨拶がありました。今後の抱負を述べられるとともに、小森前支部長から引き継いだ若手活性化への取り組みを強化するために、若手交流会幹事を2名に増員したことの説明がありました。

[第四号議案]平成29年度活動計画

・平成29年度の行事計画の説明があり、承認されました。

[第五号議案]平成29年度予算計画

・平成29年度の予算計画の説明があり、承認されました。

[第六号議案]米寿、喜寿を迎えられた方

・本年は、申告ベースで該当者なしであることが報告されました。

以上をもって、平成28年度洛友会東京支部総会は閉会となりました。

【講演会】

「IoT時代の無線通信システムの研究開発、標準化」と題して、京都大学大学院情報学研究科 原田博司教授からご講演いただきました。

ご講演内容

冒頭に、現在の学生の特性として、ネットの活用、無線を知らない学生が増えていることの紹介があり、特に、無線を知らない学生への対策として、原田研究室では、実学を推奨している点の紹介がありました。

次に、研究の3つの方向性として、広域ブロードバンド、高能率化、IoTに関する取り組みの紹介がありました。広域ブロードバンドの研究としては、VHF帯を利用して、通信距離10km超で、数10Mbpsの通信速度を実現することを目指しており、京都市内で、実証実験を実施していることの説明がありました。高能率化の研究としては、より高い周波数利用効率を実現することを目的に、伝送特性を下げることなく、帯域外漏洩電力を極限まで低減できる波形整形装置を開発していること、および、大学内に、LTEの基地局とコアネットワークを整備し、上記装置を実際の基地局に付加して実験していることの説明がありました。

IoTの研究としては、Wi-SUNシステムを中心として、NICT時代の標準化から、現在の研究に至るまでの取り組みの紹介がありました。IoTの課題として、少なくとも1千万台以上の台数が出ないとビジネスにならないことから、スマートメーターをターゲットに開発を進めたこと、企業に取り入れてもらうために、独自システムではなく、国際標準規格を作っていくことを推し進めたことの紹介がありました。Wi-SUNは、物理層をIEEE802.15.3gで、MAC層をIEEE802.15.4eで標準化したことと、その際の経験談が述べられました。また、Wi-SUNが現在では、東京電力に採用され、1100万台のスマートメーターに採用されているとの紹介がありました。

質疑の中では、標準化に関してのご自身の経験から、世界に通用する人材育成に関する議論が実施されました。原田先生のご意見として、現在の学生はデータ整理／読解力には大きな強みがあり、それを標準化活動の中で世界に発信していくための、「英語力」「胆力」を伸ばしていくことが重要であることが述べられました。

また、IEEEなどの標準化で世界を主導していくためには、日本丸ではなく、グローバル化した京大／洛友会での人の繋がりの活用が非常に重要であることが述べられました。



ご講演される原田先生



講演の様子

【懇親会】

午後5時より、恒例の懇親会に移りました。懇親会は、下村新支部長の開会のご挨拶の後、長尾会長のご挨拶と乾杯のご発声で始まり、例年通りの幅広い年齢層にわたる多彩な参加者の交流の場となりました。特に、本年は、本部総会との共催となっており、佐藤事務局長をはじめとする現役の教授との意見交換が実施できま

した。最後に、竹田新会計幹事の音頭により、恒例の「洛友会の歌」および「琵琶湖周航の歌」を合唱し、得井新副支部長の中締めにより閉会となりました。



懇親会での長尾会長ご挨拶



「琵琶湖周航の歌」の合唱

〔報告〕 会計幹事 竹田真二 (H11 卒)

1.2 秋の講演会

平成 29 年度秋の講演会は、11 月 13 日(月曜日)18 時 30 分から学士会館にて開催されました。

今年は、三菱電機(株)取締役会長山西健一郎様に「競争優位に導く企業力の源泉」と題してご講演をいただきました。65 名の方にご参加いただきました。

山西様は日本経団連副会長としてもご活躍であり、グローバル化が進展する国際間の競争において日本が苦戦を強いられ、電機業界においても、欧米・中国・韓国・台湾等との競争において、技術優位性の低下が苦戦を強いられている大きな要因となっていると憂慮されています。これを打破し、乗り越えていくための指針として、三菱電機の成長戦略に触れながら、本来日本企業がもっている競争優位性と、経営者として必要な資質及び要素についてお話を頂きました。

三菱電機の経営戦略・概況として、セグメント別売上高比率の紹介、経営方針として収益性・効率性と健全性を基盤とした持続的成長を追求している。変革への挑戦として「4つの満足」を挙げており、中でも「従業員の満足」にも注力している。価値創出を通じた成長の実現、持続成長のさらなる追求を目指しており、売上高・ROE の継続的向上を行い 2020 年にむけた目標を達成していく。成長を牽引するために強い事業をより強くする方針を行っており、電力・交通・ビル・FA・パワーデバイス・空調に、自動車機器・宇宙を加えた8事業を主力事業と考えている。また、企業理念と行動指針、コーポレートガバナンスの重要性について紹介された。

日本の経済成長・産業育成における課題として、少子高齢・自由貿易・電力安定供給・資源・税金・自然災害・為替・Society5.0 の 8 点がある。これら課題に対して、「高度な技術力のさらなる進化」、「コンセプト提案製品の創出」、「構造的なコスト高の是正」の「3つの課題解決方向」を挙げ、三菱電機の技術力としてそれぞれどのような対応を行っているかを紹介していただいた。「高度な技術力のさらなる進化」としては、価値づくりを実現するためには、ものづくりの強さを活用しつづけ、意味的価値(顧客価値)を創出しつづけることである。これを実現していくために、キーコンポーネント内製による製品競争力強化、摺合せ／アナログ技術によるインテグレーション、生産性向上、ノウハウのクローズ化の重要性である。「コンセプト提案製品の創出」としては、社内外連携したオープンイノベーションを行い新たな付加価値の創造・提供を実施する。例として、スマートコミュニティソリューションや衛星ソリューション、FA ソリューションを事例を交えて説明していただいた。最後に「構造的なコスト高の是正」として、コスト高を惹き起こす要因と抜本的に直すポイントとして、法人税減税・海外企業の誘致・移民・多子化・電力代の低減・資源開発などを挙げられた。

技術者・経営者としての経験談を生産技術センター長・生産システム本部長時代、半導体・デバイス事業本部長時代、社長時代に分けて説明していただいた。センター長／本部長時代の方針としては、「変化は進歩、現場主義、厳しく明るく」である。半導体・デバイス事業本部長時代は、真のモノづくり強化、一夜漬け理論(ダラダラやるのではなく、最高の効率で最小限の時間内で片づける)、一流と組む(例、トヨタ、Huawei、ダイムラー)を挙げられた。社長時代では、成長戦略の推進を行い、重点 8 事業をより強くする、新興国市場への展開、成長戦略を支える基盤づくりについて挙げられた。

これからの経営者への期待として、日本の将来を担う経営に必要な視点、経営者に不可欠な要素について話されました。経営に必要な視点としては、成長を目指して(人の話を聞く、柔軟性、計画側の重要性)、グローバル化(世界の中の日本、ローカルティスト理解、日本市場の成長)、多様性(スペシャリストとゼネラリストのバランス、十人十色、様々な角度から意見)、ポスト5輪(2020年に向けた成長完遂、それ以降の成長に向けた種まき)が必要である。最後に、経営者に不可欠な要素として、闘争心・情熱が一番重要であり、人間的魅力・倫理観、専門性・見識の必要性、不条理を理解する力が必要であることを挙げられました。



山西 健一郎 様



講演の様子

今回の講演では、グローバル産業競争において、日本企業が持っている競争優位性、経営者としての必要な資質・要件を紹介していただくことにより、今後の社会を担っていく一員として改めて考えるよい機会となりました。

〔報告〕 総務幹事 山本 輝哉(H10 卒)

1.3 見学会

寒さもようやく緩んできた3月16日、恒例の春の見学会を実施いたしました。平日にも関わらず、41名の方にご参加いただき、茨城県つくば市のJAXA 筑波宇宙センターを訪問しました。

小雨がちらつく中の見学でしたが、JAXA の皆様のご対応により、見学順序を一部変更することにより、充実した見学が実施できました。



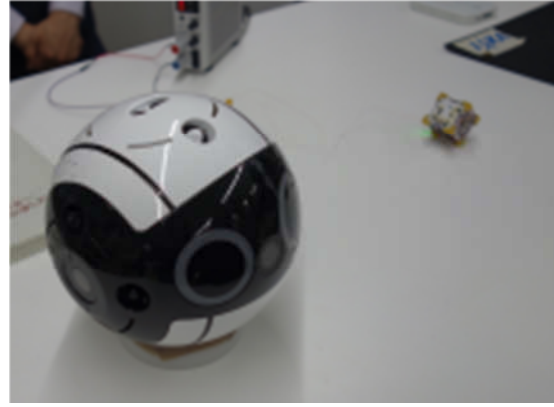
H2A ロケット前での集合写真

筑波宇宙センターの見学は、今回の会を計画いただいたJAXA 執行役で洛友会東京支部 監事の伊東康之さんのご挨拶から始まり、紹介ビデオにより、①国際宇宙ステーション(ISS)「きぼう」/宇宙ステーション補給機(HTV)「こうのとり」、②H2A/H2B/H3 ロケット、③人工衛星による地球観測、④追跡管制、⑤環境試験、⑥研究開発の説明を聴講しました。

その後、屋外に展示されている実物の H2A ロケットの前で、記念撮影を行いました。



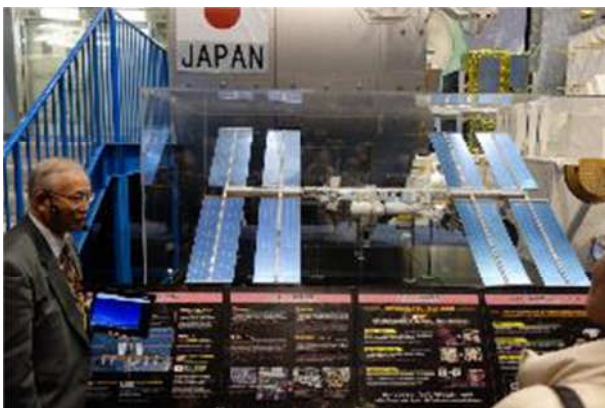
研究開発棟での見学風景



”Int-Ball”と 30mm 角の三軸制御モジュール

ここからは、一般公開されていないエリアでの見学となりました。まず、研究開発棟にて、洛友会員大橋一夫次長の説明で代表的な研究開発品や「超小型三軸姿勢制御」の研究成果と動態デモを見学しました。Int-Ballと呼ばれる ISS 内を移動して写真撮影など飛行士の支援を行うロボットに活用されていることの説明がありました。

次に、有人宇宙探査の展示を見学しました。ここでは、2015 年に ISS きぼうでの宇宙滞在、実験業務に従事した宇宙飛行士の油井亀美也さんによる説明で、ISS きぼうのエンジニアリングモデルや今後の月探査に向けた居住モジュールなどの展示を見学しました。午前の部の最後は、ISS きぼうの管制室の見学でした。実際に、ISS きぼうと通信しながら ISS での業務に従事する宇宙飛行士をサポートしている管制官達の様子を見学することができました。



ISS 全体模型



ISS きぼう実物大模型内での見学

JAXA 内の食堂で昼食をとった後、展示館「スペースドーム」の見学を行いました。1978 年に打ち上げられた放送衛星 (BS)「ゆり1号」をはじめとした実物の人工衛星や、ロケットの模型、ISS きぼう内部模型、宇宙服などの展示を見ながら、宇宙開発事業団 (NASDA) 時代からの JAXA の宇宙開発の歴史を学ぶことができました。



スペースドームの見学風景



これまでに開発したロケットの模型

今回の見学会は、JAXA の皆様の計らいにより多数の展示の見学を計画いただいていたため、見学後の散策は行わず、東京駅までバスで戻った後、定刻通りの解散となりました。

今回の見学にあたり、事前のご準備、当日のご対応をいただいた JAXA の皆様に感謝申し上げます。

[報告]会計幹事 竹田真二(H11 年卒)

1. 4 若手交流会

今年度は、「若手の会員拡大とその活性化」に向けた活動として、講演会・懇親会開催の代わりに、以下のような課題認識の下、S55 以降卒業の方々に縦・横のつながりを再構築していただくことで、洛友会に対する帰属意識の再確認を図ることを狙いとして、S55～H11 の各学年の世話係(主に、学年幹事)に集合いただき、4 つの拡大クラス会を発足させる活動を行った。(H30.3.8 に支部長を始め、15 名が集合し意見交換ならびに交流会を実施)

課題1. 学年幹事との連絡さえ取れなくなっているケースが散見される。

課題2. 個人情報保護の観点から、同一の社内・グループであっても、連絡が取りにくくなっている。

課題3. いわゆる働き盛りの世代にとって、業務繁忙のため、自発的な活動はあまり期待できない。

活動の結果、下記、4 つの拡大クラス会を発足し、H30 年度より活動することとした。

S55～S59:「喜洛会」代表者 濱野宏 (S55)

S60～H1 :「洛泡会」代表者 田村俊之(S60)

H2～H6 :「洛成会」代表者 中原智勇 (H2)

H7～H11 :「百万遍会」代表者 福原忠行(H09)

[報告] 若手交流会幹事 福原 忠行(H9卒)

1. 5 趣味の会

名称	平成29年度幹事
囲碁会	喜多村 滋氏(S36卒)、向井 利典氏(S41卒)
麻雀会	船山 眞弘氏(S39修卒)
ゴルフ会	古澤 久具氏(S35卒)、山澤 穰氏(S38卒)、田崎 信氏(S44卒)
洛謡会	村上 薫氏(S36卒)
テニス会	山内 英樹氏(S44卒)、田中 喜男氏(S44卒)、成松 洋氏(S46卒)

入会のご希望、またはお問い合わせがございましたら、以下のアドレスにメールをご送付ください。

- ・囲碁会 igo@rakuyukai.org
- ・麻雀会 mahjong@rakuyukai.org
- ・ゴルフ会 golf@rakuyukai.org
- ・洛謡会 utai@rakuyukai.org (宝生流、観世流の謡会)
- ・テニス会 tennis@rakuyukai.org

●囲碁会活動報告

幹事 喜多村 滋(S36 卒) 向井 利典(S41 卒)

H29 年度は 5 月、9 月および H30 年 1 月の 3 回開催し、参加人数はそれぞれ 16 人、16 人、17 人であった。平成 25 年度までは 20～25 人程度の参加人数であったが、ここ数年は 20 人を下回る傾向にある。

開催場所の変更

これまで開催場所は東京駅八重洲口の「いずみ囲碁サロン」としていたが、H29 年 12 月末で閉店となったので、新たな場所を探索し、交通の便、環境の良さ、適正な入場料、予約確保のし易さ、会場の収容能力等を考慮して新宿駅南口の「囲碁サロン・天元」を選定し、H30 年 1 月に第一回目を開催した。

予想通りの雰囲気で開催できたので、今後の開催場所としたい。

会員動向：

現在常連参加者の平均年齢は 70 歳代後半となっている。若手の新規参入がほとんどない現状では平均年齢が毎年確実に1年ずつ上がっている。

このような現状の中で H29 年度は高柳徹氏(H22 卒)が新規に参入された。

高柳氏は現役時代京大囲碁部の主将として活躍され、現幹事の向井氏以来の学生囲碁会実力者の参入となる。 洛友会囲碁会の発展に大いなる活躍を期待したい。

とはいえ、S40 年代後半以降卒の新規参加が依然として切望される。

運営方式：

対局方式は各自の持点によるハンディキャップ制とし、午後の半日の時間内(原則1時～6時)に各自3局対局を標準として、最初の3局の成績に応じて賞品(図書カード)を進呈している。

時間の許せる人は4局目以降の対局も自由で、結果は次回の持点に反映する方式をとっている。

参加者数と成績：

各回の参加者数、成績優秀者(3 戦全勝者)は以下の通り(卒年順、敬称略)

◇ 第 1 回(H29 年 5 月 7 日)

参加者 16 名

優秀者 渡邊義郎(S28 旧卒)、中田良知(S38 卒)

◇ 第 2 回(H29 年 9 月 4 日)

参加者 16 名

優秀者 西谷卓史(S48 卒)

◇ 第 3 回(H30 年 1 月 14 日)

参加者 17 名

優秀者 石黒公(S40 卒)

囲碁会は「気軽に参加し、気楽に楽しむ」ことをモットーに、例会開催日直前での参加や取消しにもフレキシブルに対応し、集合・解散の時間も個々人自由にできる、いわゆる「好きな時に来て好きな時に帰る」方式をとっている。また、持ち点制のハンディキャップ採用で、どんなに棋力の差があっても対等に対局でき、盤前に対座すれば親子孫ほどの年齢差に関係なく、年代を越えて和やかな雰囲気に対局を楽しむことができるので興味のある方はどうぞ気軽にご参加いただきたい。

最後に、H16(2004)年度に渡邊壽夫幹事(S32 卒)から幹事を引き継いで以来 14 年間幹事をやらせていただいた喜多村は H29(2017)年度をもって退任し、H30(2018)年度から向井利典幹事(S41 卒)に引き継ぎます。

洛友会には正副幹事はないので2名を幹事として登録し、両名の順序をこれまでと入れ替えます。

実質的には、向井氏が主幹事、喜多村は副幹事として主幹事をサポートします。

数々の至らぬ点がありましたが、会員皆様のご協力により楽しい囲碁会を催すことができたことを心からお礼申し上げるとともに、新任の向井幹事のリードと共に当囲碁会が益々盛況になることを祈念いたします。

以上

●麻雀会活動報告

幹事 船山眞弘(S39修卒)

1. 開催状況

行 事	開催日	参加人数	開催場所
第108回例会	平成29.6.3.	8名	渋谷雀荘(すずめそう)
第109回例会	平成29.9.2	8名	渋谷雀荘(すずめそう)
第110回記念例会	平成30.3.4	8名	熱海ニューフジヤホテル

2. 開催回数と参加費の変更

一昨昨年度までの当麻雀会の例会は、通常年 2 回開催を慣例としてきましたが、一部の会員から開催回数の増大の要望があり、役員及び会員で協議の結果、一昨年度から年3回の開催が、それまでの参加費1,000円を1,500円に値上げすることを前提に、決まりました。

3. 熱海第110回記念例会

昨年度の3回目の例会は、丁度第110回目の例会であつたため、その節目を記念して、熱海にて1泊2日の記念例会を開催しました。

東京でのいつもの例会とは、別の開催地で、別の雰囲気、いつもより時間をかけてじっくりと技を競い、今後の活動に何らかの新しい息吹を与えてくれた記念例会であったことを期待しています。

4. 会員状況

現会員数は20名で決して多くはなく、しかも横ばいであり、若手会員の増大がいつも変わらない、今後の大きな課題です。昨年度3回の例会では、S38～40年卒の中間層の活躍が目立ちましたが、この活躍がより若手の活躍、ひいては増大につながるよう期待してやみません。

5. 参加人数の調整(4の倍数)

幹事の最大の難事である「参加者数を4の整数倍にする」ことに関しては、積極的に協力して下さる会員がいつも数名おり、幹事冥利に尽きると感謝している次第です。

以上

●ゴルフ会活動報告

幹事 古澤久具(S35卒)、山澤 穰(S38卒)、田崎 信(S44卒)

平成29年度は平成29年10月11日と平成30年3月28日の2回コンペを開催しました。

開催日、開催場所、入賞者は以下のとおりです。

・ 第134回 平成29年10月11日晴 本厚木 CC

参加者19名、優勝:山澤 穰氏(38)、準優勝:竹井 大輔氏(37)、3位:原川 竹氏氏(46)

・ 第135回 平成30年3月28日晴 本厚木 CC

参加者17名、優勝:信国 弘毅氏(34)、準優勝:曾我 正和氏(33)、3位:村上 薫氏(36)

()内は卒業年度。

洛友会ゴルフは春秋年2回開催としており、春は桜の満開時期にあわせて開催日を選んでいきます。今春、東京では3月22日に開花宣言があり、3月下旬の気温が高かったので3月28日は例年より10日も早い桜の満開で、ゴルフ場の桜も当日満開、気温も高く絶好のゴルフ日和でありました。花見のために意図的に桜の下にボールを打ちこんで時間をかける人も見られましたが、楽しいゴルフでした。住地ゴルフの紹介に依れば、本厚木 CCの桜は16番ホールの左側がお勧めですが、私は6番ホールの右側の桜並木が最も美しいと思っています。今年も間違いなく6番ホールが優れていました。

5年毎に5年間の成績を基にHDCP見直しを行っています。今年3月のコンペが見直し後最初のゲームなので、参加者全員がパープレーに近いスコアで回れるとの予想でしたが、34卒の信国弘毅氏(82歳)が2アンダーの好成績で優勝されました。

若い人の参加が少なく参加者の高齢化が進み参加者数が毎年減少してきていることは何度も報告した通りですが、多くの方がゴルフ会に参加されるよう願って、昨年はゴルフの効用に関するスウェーデン・カロリンス研究所のデータを紹介しました。[ゴルフの健康効果:腰割りストレッチ、歩きかた、認知症予防の脳トレに在る。ゴルファーの死亡率は40%低い、つまり寿命が5年長い。]

国立研究法人「国立長寿医療研究センター」の研究でゴルフをやったことのない人にゴルフ練習をさせた実験で単語記憶能力が6・8%、論理的記憶能力は11・2%向上し、「ゴルフで認知症予防! また記憶力向上に効果!」との報告があります。

さあ、皆さん高齢になってもゴルフを続け健康年齢を伸ばそうではありませんか。

出来るだけ多くの人の参加をお待ちしております。

以上

●洛謡会活動報告

幹事 村上 薫(S36卒)

謡会を3回開催しました。

- 1) 第157回洛謡会 平成29年9月18日(月・祝) 於 目黒区勤労福祉会館
曲目: 芦刈(宝) 清経(観) 杜若(宝) 柏崎(観)
- 2) 第158回洛謡会 平成30年3月21日(水・祝) 於 目黒区勤労福祉会館
曲目: 鞍馬天狗(宝) 熊野(観) 江口(宝) 富士太鼓(観)
- 3) 第159回洛謡会 平成30年4月30日(月・祝) 於 目黒区勤労福祉会館
曲目: 黒塚(宝) 鉄輪(観) 三山(宝) 杜若(観)

宝生流と観世流で毎回2曲ずつ謡っています。曲により難しさもいろいろですが、舞台となった昔を偲びながら大声を出して、楽しんでおります。

謡のご経験のある方がおられましたら是非ご参加ください。

以上

●テニス会活動報告

幹事 山内 英樹(S44卒)、田中 喜男(S44卒)、成松 洋(S46卒)(文責)

洛友会東京支部テニス会は、開始より40年以上の実績があり、昭和50年代からほぼ毎月1回のペースで週末あるいは祝祭日での例会開催を続けてきました。平成29年度はこの目標を上回る14回の開催ができました。通常の拠点にしている世田谷の東京インター(用賀)近くにある大蔵第二運動場に加え、八王子の戸吹・上柚木や富士森公園などのコートの確保も試み、平成29年度の世田谷以外の開催実績は4回となりました。計画したものの天候に恵まれずあるいは人数不足での中止も数回ありましたが、良いペースで実施できました。

関東圏の広い範囲からの会員諸氏の参加を期待しており、事実、例会に積極的に参加されている皆さんのお住まいは広範囲に分布していて、例えば、東は東京墨田区、西は横浜からの参加者も居られます。

毎回2時間、ダブルスでのゲームを行っています。幅広い年代の皆さんが参加され、またしばしば奥様・ご友人の参加もあって、楽しく賑やかにゲームをおこない健康な汗をかいています。2時間のテニスの後、時間が許せば懇親会を兼ねた昼食会を持つこともあります。

これからも引き続き、楽しいテニス会を開催していきたいと願っています。初心者の方でも大歓迎ですので、少しでもテニスに興味をお持ちの皆様、そして勿論腕に自信のある方も、ぜひ幹事までご一報ください。お待ちしております。

回	開催日			参加人数	開催場所
1	平成29年	6月3日	(土)	5名	八王子上柚木公園
2		6月11日	(日)	6名	世田谷区大蔵第二運動場
3		7月8日	(土)	4名	世田谷区大蔵第二運動場
4		8月13日	(日)	6名	八王子富士森公園
5		9月18日	(月祝)	6名	世田谷区大蔵第二運動場
6		9月23日	(土祝)	5名	世田谷区大蔵第二運動場
7		11月19日	(日)	5名	八王子富士森公園
8		12月9日	(土)	5名	世田谷区大蔵第二運動場
9		12月17日	(日)	5名	世田谷区大蔵第二運動場
10	平成30年	1月8日	(月祝)	5名	世田谷区大蔵第二運動場
11		1月21日	(日)	4名	八王子戸吹スポーツ公園
12		3月4日	(日)	5名	世田谷区大蔵第二運動場
13		3月11日	(日)	5名	世田谷区大蔵第二運動場

14	3月25日	(日)	6名	世田谷区大蔵第二運動場
----	-------	-----	----	-------------

以上

1.6 拡大クラス会

名称	平成29年度 幹事
京極会[S35～S39卒]	榑博史(S35) 西田武彦(S35)
洛粹会[S40～S44卒]	井上 英也(S44)
洛談会[S45～S49卒]	蓮池 和夫(S48) 成宮 憲一(S49)
洛笑会[S50～S54卒]	古川 清二 (S52卒)

●京極会[S35～S39卒]

幹事 榑博史(S35)、西田武彦(S35)

京極会は昭和35年卒より昭和39年卒までの学年横断の会である。京極会は「京極会会合」と「京極会ゴルフ会」の2つの活動を行っている。

平成29年度の京極会会合は平成29年11月9日午前11時より午後2時まで学士会館306号室で12名の参加を得て開催した。幹事担当学年は昭和35年である。

会合の前半は昭和35年電気卒の角忠夫氏の講演であった。角氏は芝浦製作所、芝浦メカトロニクス of 代表取締役、松蔭大学大学院教授、芝浦工業大学大学院客員教授を歴任され、現在北陸先端科学技術大学客員教授である。この他自身で(株)むさしの経営塾を経営しており、(株)メタテクノと共同でTMPSという技術経営実践スクールを武蔵小杉で開講している。これは財務管理、管理会計、品質管理、人材管理、ソフトウェア開発手法等を4コマ×11講義で1年かけて教えるものであり、対象は中小企業経営者およびその後継者および幹部社員である。

今回の京極会における講演題目は「IoTは日本の世紀——次世代技術者・管理者へのシニアからのエール——」というものである。

講演の概略を以下に項目を分けて示す。

1. ドイツ発 Industrie4.0、米国ゼネラルエレクトリック社のインダストリアル・インターネット、日本政府のソサエティ5.0はインターネットでサービスや生産やエネルギーを含めた物流や装置を総合的に結合するものである。
2. 前項の方式を支えるものがIoT(物のインターネット)であるが、この分野は日本が優勢な分野である。なぜなら物の取り扱いにはセンサーが必要であり、この分野の日本のシェアは世界の60%を占めるからである。センサーの種類は光度、慣性力、圧力、磁界、温度等である。これら物に近いインターネットを角氏はブルーカラーインターネットと呼び、従来のオフィスコンピュータをホワイトカラーインターネットと呼んでいる。
3. IoTによるビジネスモデルを角氏はB(単一会社)、C(産業間協力)、N(国家管理)の3種類に分けており、このうち特にBについてその例を示してある。洋服の膨大なバリエーションからの選択がこの例である。Cの例としてコマ

ツの建機管理が挙げられる。

4. 最後に角氏は経営者(技術者)のIoTへの心構えを示している。これはIoTに自ら関心を持ち顧客訪問時に話題に乗せ、IoT推進社内会議のリーダーとなり部下・スタッフの教育を重視し、グローバルマインドを持つということである。

以上が角氏の講演の内容である。京極会会合の後半は各自の近況報告および懇談の時間であったが懇談の時間になってもこの講演に触発された真面目な話題が続いた。産業界における指導者の養成法、最近話題となっている日本の品質管理の問題点等である。この他、近江今津駅に近い「琵琶湖就航の歌資料館」を訪問した際の話題が興味深かった。人数が12名と少なかったため、また1つのテーブルを囲む形式の会場であったため全員が1つの話題に集中できた。

京極会のもう一つの活動である京極会ゴルフ会の平成29年度の活動について述べる。本会合と同じくここでも幹事は卒業年度ごとの持ち回りとなっており本年年度の幹事は37年卒の竹中氏である。京極会ゴルフ会は、

年に2回、春、秋に津久井湖ゴルフ倶楽部で実施しており、本年度は平成29年4月24日と同年11月13日実施した。4月24日の催しの参加者は11名であり11月13日の参加者は9名であった。参加者は毎回和気藹々ゴルフを楽しんでいる。

以上

●洛粹会[S40～S44卒]

幹事 井上英也(S44卒)

本年は、洛粹会メンバーが直面しつつある高齢社会での生活の質(Quality of Life)をどのようにして確保していくべきかという観点から介護ロボットに着目して、利用者の現場実態を見学し、現場を先導する若き女性リーダーのご講演を頂くことにしました。

開催日時 平成29年10月26日(木) 15:00～19:30

会場 見学と講演:(株)風の谷プロジェクト(神奈川県三浦市崎陽町2-1)

懇親会:伊豆島(三浦海岸)

見学 (株)風の谷プロジェクト リハビリデイサービス

講演 講師:(株)風の谷プロジェクト 代表取締役 長谷川由理様

演題:高齢化社会と介護ロボット開発の必要性

未病チェック 長谷川代表のご指導の下、個々人の健康の程度をチェックしました。

①転倒リスク評価表によるチェック

②基本チェックリスト(厚労省作成、介護予防事業利用の可能性チェック)

③神奈川県未病チェックリスト(ネット上でのオンラインチェック)

この企画は、44同期の岡林光志君(現在「よこはまティーエルオー(株)」で産官学連携支援事業に従事)が、国の地域活性化総合特区の一つである「さがみロボット産業特区」の総合プランナーとして、平成25年から生活支援ロボットを中心とした開発・実証試験・事業化を推進してきていますが、特に介護・福祉・リハビリ関係のロボット開発について力を入れており、その活動の中で得た経験と人脈から浮かび上がり、キーパーソンである(株)風の谷プロジェクトの長谷川由理代表取締役様のご快諾により実施の運びとなりました。



会場には都心から2時間以上かかるという遠方にも拘らず19名の参加を得ることができました。懇親会の席では三崎マグロと地魚を肴に心地よく酔酌し、見学と講演で得た新しい知識を巡って談論が風発しました。そして「何はともあれ健康を維持しながら長命すること」をお互いに確認し合いました。

参加者全員が要支援者に対する地味な支援活動を、使命感を持って推進されている風の谷プロジェクトの

長谷川代表の見識と熱意に魅了された一日でした。

以上

●洛談会[S45～S49卒]

幹事 蓮池 和夫(S48)、成宮 憲一(S49)

洛談会は、9月23日(土)に小石川後樂園涵徳亭にて開催しました。小石川後樂園は、水戸徳川家の上屋敷として造られた庭園で、文化財保護法によって国の特別史跡・特別名勝に指定されている名庭園です。何とか天気恵まれ、参加者は会合に先立ち自由に庭園を散策し、初秋の庭園を堪能するとともに、東京都の歴史、文化、自然を学習しました。

その後、庭園の一角にある涵徳亭で懇親会を開催し、逢坂 S45 学年幹事の開会あいさつと乾杯に引き続き、にぎやかな懇親会がはじまりました。参加者は 22 名で、福山淳さん(S 49 卒、京大名誉教授)からは、昨年退官までの京大の様子や、浅見徹さん(S 49 卒、ATR 社長、東大名誉教授)からは、ATR の様子などの話を伺った他、各学年の代表の近況報告などを披露していただきました。

次回の幹事は逢坂さん(S45 卒)と高重さん(S46 卒)が担当しますが、開催曜日についての意見交換も行われ、次年度以降の開催の準備も着々と進めつつ、懇親会を終了しました。



以上

●洛笑会[S50～S54卒]

幹事 古川 清二(S52卒)

第5回 洛笑会は、下記の要領で実施されました。

辻本さんの乾杯の音頭で開始され、和気あいあいと楽しい2時間を過ごすことが出来ました。1人1分程度で近況報告をしていただいたのですが、皆さん年相応に健康管理、趣味の維持・向上(?)に意欲を示されておられました。

この会がいつまでも皆さんの縁を取り持つ場として発展していけたら、素晴らしいことですね。なお今回は竹原さんから御提供いただいたメーリングシステムに助けていただきました。御礼申し上げます。

写真撮影(添付資料)の後、来年度当番幹事を迎えるS53卒を代表して梅比良さんの中締めで来年の再会を期して散会とさせていただきます。

1. 日時 2018年5月17日(木) 19時～21時
2. 場所 学士会館 301号室
3. 出席者(敬称略:順不同)25名

S50年次 河原崎(学年幹事)
6名 小森、有田、熊谷、竹原、松田
S51年次 辻本(学年幹事)
2名 下村
S52年次 古川(学年幹事)
11名 伊藤、七原、西野、野津、濱井、諸富、山尾、渡辺、得井、工藤
S53年次 岩壁、川村、芹沢、梅比良
4名
S54年次 矢永、三浦
2名



以上

1. 7 幹事会

日時: 平成 29 年 5 月 21 日 12:00～16:00

場所: 学士会館本館(2 階 203 会議室)

議題:

- (1) 平成28年度決算・行事報告
- (2) 平成29年度予算・行事計画
- (3) その他
平成29年度洛友会東京支部総会議案について

1. 8 第6回京都大学同窓会東京支部連絡会議および第4回交流会

日時: 平成 30 年 4 月 19 日(木)18:30-21:00

場所: 学士会館 302 号室

京都大学同窓会との共催で、在京 16 同窓会 22 名が参加して表記連絡会議が開催されました。同窓会代表幹事でもある徳賀副学長、代表幹事代理でもある荒木総長特別補佐の来賓挨拶、出席者自己紹介の後、出口連絡会議代表幹事から簡潔に経過報告、会計報告がなされ、主議題である「京都大学未来フォーラム in 東京(仮称)」の企画に関する議論に時間を割きました。種々の意見がありましたが、年度内に京都アカデミアフォーラム(新丸の内ビル内、120 名収容)を会場として講演会を実施することが合意されました。

初めての出席で記憶に残ったことは、国内及び国外に各々約 30 の地域同窓会等の組織化がされていること、個人情報保護法施行後の同窓会名簿壊滅から連絡体制の再構築(京大アラムナイ、KUON 等)に努力されていることでした。

20 時前からは交流会(懇親会)に移行し、記念撮影などを含め懇親を図りました。

報告:伊東監事(S53)

1. 9 課題への取り組み報告

(1)登録会員(連絡先が把握できている会員)数向上について

出身研究室・所属企業等、縦横のネットワーク活用による東京支部会員の把握率向上を図ることとし、その第一ステップとして、学年幹事との連絡体制を再構築し、拡大クラス会を一気に 4 グループ(S55～S59、S60～H01、H02～H06、H07～H11)発足させた。

具体的には、各年次の代表者を確定し、各会の名称の決定、30 年度からの活動計画策定に取り組んでいただいた。

(2)若手活性化施策について

手作りの若手交流会にこだわらず、あらゆる機会を活用しようということで、今年度は、その試みとして、2017 年 8 月 24 日に京都大学東京オフィス(新丸ビル)で開催された京都大学丸の内交流会を若手会員に紹介し、在京の京大同窓生約 80 名との交流を図った。

(3)全学同窓会活動について

支部活動のあらゆる機会を捉え、京大アラムナイを紹介するとともに、東京支部連絡会議に参加し、全学同窓会活動との連携を図ってきました。

1. 10 洛友会会報への寄稿

H29 年 07 月号 巻頭言 小森 光修氏(S50 年卒)

H29 年 10 月号 一般寄稿 山尾 泰氏(S52 年卒)

H30 年 04 月号 一般寄稿 下間 芳樹(S48 年卒)